

広報 = 192号

なかつえ

人口と世帯

11月30日現在
 ()内は前月比
 人口 2,100(-5)
 男 1,018(-3)
 女 1,082(-2)
 世帯数 581(+1)

■ 発行所・編集発行人・中津江村・斉藤隆一

印刷・日田・朝日堂

昭和55年はサル(申)とし。

ご存知のように、今は新暦以外の暦は一切使われていませんが、十二支に動物をあてはめたいわゆるエトだけは、その年のペットネームのようにして、何となく残っています。

サルという言葉は「去る」「サルまね」「サル知恵」「サル芝居」などといった調子で、どうもあまりいい意味では使われていないようですし、また、サルカニ合戦でも悪役です。

でも、サルを魔よけ、安産、子育て、盗難よけの守り神としている地方もあります。また、各地にサルをかたでったおもちゃがいろいろあるのも、もとはといえばお守りだったものが多いようです。

今年の中津江村、私たちは「申年」をサルまねサル芝居ではなく「サル」を守り神として80年代の幕開けの55年から大きく羽ばたいていきたいものです。



<1月>

- 1日 元旦
- 4日 官公庁御用始め
- 5日 成人式
- 8日 消防団出初式
- 11日 鏡開き
- 15日 成人の日
第二回新春走ろう・歩こうカイ!
- 21日 大寒
- 26日 文化財防火デー

行事

1980

1月号

謹 賀 新 年



年頭にあたり

温情味あふれる 住みよい村づくり

村長 斉藤隆一



昭和五十五年の新春を迎え、みな様とともに今年こそ良き年でありますよう祈りたいと思います。

昨年は、国の内外において政治、経済、外交各般にわたり誠に激動の年でした。国内政治面では、四月の統一地方選挙から衆議院選挙と引続きおこなわれ、一応国及び地方における政治態勢は決まりましたが、政治的腐敗事件が続出し、政界は大ゆれにゆれた年でした。国の財政危機が叫ばれ、政府も予算編成に苦慮していますが、これが地方自治体に及ぼす影響も必至で今後の行財政の運用も容易ならざるものがあると思われま

す。円安と物価高、不況の低迷の錯綜するなかで、イラン革命とイランの米国大使館人質事件に端を發した石油事情、及びオペックの情勢は我が国の経済、国民生活に甚大な影響を及ぼし石油の値上がり、経済の低成長は深刻なスタグフレーション（不況下のインフレ）を現出するものと思えます。以上の国内外の政治、経済、外交の動向は、直接間接に末端の町村の政治、行財政及び住民の生活に影響するところ大で、八〇年代はますます激動と不確定の時代となることが予想されます。

昨年六月末の集中豪雨は、本村に大きな爪跡を残しましたが、その後始末がやっとつきかけている現状で、そのため一般行政、諸事業が著しく遅延し、当初計画に変更を来し村民のみな様にも大変ご迷惑をお掛けいたしました。幸いにして激甚災害の地域指定を受けましたので、この回復に鋭意努力中でございます。村の重要施策として実施中の津江中学校の建設事業も大體完成に近づき、二月下旬に

は全体の落成式ができる運びとなりました。これは自主財源の大部分を投じた村としての大事業で、村民のみな様の御協力に心から感謝を申し上げます。

重点事業としての農林業の振興については、地域農政特別対策事業、地域再編農業構造改善事業、林業集落基盤整備事業、新林構実験対策事業、中核林業地域指定事業、農免農道の開設、祝川広域基幹林道等遂次実行中であり、今年度から本格化することになります。

龍門ダム分水に基づく諸事業も、県ならびに建設省と協議を進めながら遂次実行にはいりつつあります。特に鉱害防止対策事業については、先日金属鉱業事業団も事務所を日田に開設し、約七億円の事業予算で今年度は災害復旧を含めて一部事業に着手し今年度から本格的予算がつき事業実施にかかります。

過疎バス対策としては、日田バスに代って栃原一市の瀬間を今年度から赤字覚悟で福祉バスとして村営で運行し、村民のみな様の足を確保することになりますので村民みな様の最大限の利用とご協力をお願いいたします。

鯛生中学校ならびに鯛生金山跡地整備利用、中津江中学校跡地利用については、スーパ―林道周辺施設計画及びへき地教育研修センター誘致、鯛生小学校移転改築等の具体的な計画を樹立し著実に実行する予定をいたしております。

福祉関係では、老人医療問題が最大の課題ですが、村民の負担を減少して国保会計の高騰を防ぐため万全の策を構する必要があると思っておりますので特にみな様のご協力をお願いいたしたいと思います。

道路改良につきましては、既設の県道の改良舗装、村道の改良は大体完了する予定です。未舗装の村道、林道については、今年度から両三年のうちに可及的速やかに舗装を完了する予定にいたしております。

八〇年代は、地方の時代といわれています。地方からの、また地区住民のみなさんが自主的に計画された

ことを、あるいは村民のみ
なさんから盛り上がった積
極的な意見、要望を具体的
に村政に反映させなければ
なりません。広域的には三
全総計画に基づく定住圏構
想（モデル地方生活圈）、
新広域圏事業も日田郡市地

地方の時代をめざして

議長 鷹野 勉



あけましておめでとうご
ざいます。記念すべき八〇
年代の年頭にあたり謹んで
新年のご祝詞を申し上げま
すとともに、迎えた新年が
地方時代と充実した最良の
年であることを祈念するも
のであります。

返りみますと、昨年は地
方統一選挙にはじまり総選
挙と続き、エネルギー問題
に明けくれた激動の年であ
りました。村においても村
長と村議会議員の改選によ

域に計画実施されますので、
これ等の計画も充分取り入
れ、昭和六十五年を目標に
基本構想に若干の手直しを
おこないつつ基本計画を早
急に樹立し、緑と水を生か
した、住みよい健康な、活
力あるしかも温情味あふれ

つて新しい地方自治体の組
織ができあがり、議会は前
議会から引き継がれた津江
分水の覚書に係る建設省及
び県当局との締結条項の完
全実施と、早期着工促進等
中学校建築の完成等の重要
件案について執行部ととも
に全力をあげて対処してま
いりました。

さて、新しい年はどんな
年でありましょうか。国内
的にはエネルギー問題が年
を越し重要な問題としてそ
うそうに激しくゆれ動いて
います。行政的には地方時
代の年だともいわれていま
す。地方時代とはいろいろ
解釈があると思いますが、
地方自治体なり地方住民が
都市住民にとらぬような
社会的、経済的そして文化
的に向上するような行政が
おこなわれることではない

る村づくりを目ざして懸命
に努力する所存でございます
ので、村民各位の積極的
なご協力とご鞭撻を特にお
願いたします。

以上、村政に対する抱負
の一端を披歴しまして新年
のあいさつといたします。

かと思えます。きわめてむ
ずかしい事業であります
一つ一つの事業の推進によ
つて実現をめざさなければ
ならないと思えます。

村づくりの構想について
は基本的には村と議会の考
え方に相違はありませんが
特に農業の振興発展、道路
の整備、教育の充実、保険
衛生、老人問題を中心とし
た社会福祉の充実等の事業
は総合的立村計画の基本的
な課題としてあげられます
具体的な事業の推進につい
ては執行する村が計画し実
施するものであります。が、
これも慎重に審議検討して
きるだけ地方の時代に好ま
しい事業の優先を図り、村
と一致協力して新時代の実
現に万全を期することを約
して新年のごあいさつとい
たします。

「ごころの時代」

教育長 佐藤誠一郎



一九八〇年の新春を迎え
て、遙か彼方と思っていた
二十一世紀の峰が遠望出来
はじめた感じがいたします。

ある未来学者は、二十一
世紀は巨大な怪物がのたう
ちまわるといふ姿になるの
ではないかという悲観的な
予言をしております。

私も人類は、夢の世界
として憧憬していた月に到
達するという科学文明の驚
くべき進歩をなすとげ、次
々と夢を実現しつつありま
す。試験管ベビー、人工胎
盤等々、科学技術の「なぜ」
の究明は次々と新しい世界
を造りあげております。し
かし、石油資源の涸渇によ
る人心不安と斗争は今後ど
うなっていくことでしょう。
人類は新しいエネルギーの
開発にむかって全力を傾倒

していかざるをえない運命
をになわされているといえ
ます。人間が新しい課題に
向かっていくことはすばら
しいことでもあります。

しかし、ここで考えなけ
ればならないことは、「な
ぜ」「どんな方法でやって
いくか」の科学的方法のみ
ではいけないのではないで
しょうか。「飽くことなき
欲望の肥大化」と「物質文
明の謳歌」の繰りかえしが
人類を怪物化していくこと
は明らかかなことといえます。
私が十年前世界各国をまわ
つて、アメリカを去るに際
し、アンダウト博士がしつ
かりと握手して

「アメリカは物質文明の時
代は終わった。これからは心
の時代である。」
と言われたことは忘れられ
ません。「なぜ、どんなに」
でなく、「我如何に生くべ
きか。」を大きく考えなけれ
ばならない時代が二十一世
紀への展望となるべきであ
ります。現代はあまりにも
物に比重がかかりすぎてい
るといえましよう。
精神の輝きこそ、二十一
世紀の顔でなくてはなりま

せん。

かって、フランスに敗れたドイツを復興するため、ベルリン大学総長フイヒテは、ナポレオン軍の銃剣に囲まれながら、あの有名な「ドイツ国民に告ぐ」という大演説をしました。

「ドイツの敵はフランスでもナポレオンでもない。ドイツの敵は国民自身の利己心にある。この見えない敵に勝つことができなかったのである。ドイツを復興させるのは心の回復よりない。それには教育によって国を立てることが第一である。」

* * *

私どもは、新年に際し新しい村づくりに意欲を燃やしあおうではありませんか。そして実践することです。

「たくましい心と、ゆたかな思いやりのある人間」をめざし、足もとからはじめましょう。

一、あかるいあいさつ。

(礼を正すこと)

いつ、どこでも、だれにも、さわやかなあいさつから村づくりは始まります。

二、まわりをきれいに。

(場を清めること)

私たちの村からゴミをなくしましょう。ゴミを見つけたら拾いましょう。ゴミをしましましょう。

ハキモノをきちんと整とんしましょう。そして、きれいな住み心地のよい村にしようではありませんか。

* * *

※五十五年重点事項

一、仲よし学校の推進

昨年発足した仲よし学校(全村学校)は県下に大きな反響をよび、へき地教育の大きな目玉となりました。子どもたちの生

気はつらつとした仲よし集団の姿は美しいものでした。今年はこの内容の充実をはかりましょう。

二、寄宿舎をもつ中学校の運営を深めるとともに、やる気(主体性)をもつてひたすらに励む中学生をめざして、ともに育つ精神で進みましょう。

三、社会教育の振興のため生涯教育モデル村としての実践活動を、公民館の

新しい村づくり・人づくり

Ⅱ地域農政特別対策事業Ⅱ

三十年代後半から高度経済成長ということが盛んに言われ、農業面にもいろいろな影響を及ぼしました。労働力の流出、高齢化、女性化、農用地利用率の低下等、これらの問題にいかに対処していくか。

農村という言葉が聞けば、ほとんどの方がおそらく明るいイメージはもたないと思います。それほど農村問題とは深刻になっています。

農村問題、地域によってその事情は異なるし、皆が同じ事をやってみても適用はしないでしょう。要は、その村の地域と特性を活かした今後の村づくりを考えていくことだろうし、その中で農業をどう考えていくか……地域農政特別対策事業とは、この事業を契機として、村づくり、農村問題を真剣に取り組んでもらおうというねらいなのです。

みなさんの創意と工夫で：

現在、村は地域農政特別対策事業(推進活動)を実施しています。この事業はまず、各集落で話し合いをおこない、その集落の問題、要望などを検討していきま

す。(昨年十二月に各集落で座談会を行いました) この集落段階の話し合いが何よりも基本になるわけですが、それを煮つめて各集落ごとに意向を集大成、集落の推進計画をたてます。今度は、それを持ち集めて中津江村全体の総合推進方策としてつくりあげます。それにもとづいて整備事業をおこなうわけですが、規模拡大農家を中心として、

①小規模土地基盤整備事業(整地、区画整理、暗きよ排水、草地開発、農地開発ほか)②機械施設整備事業(共同利用機械施設導入、個別利用機械施設整備)③営農集団活動促進事業(技術研修会、先進地視察技術交換会ほか)④小作料一括前払助成事業(農用地を借

りうけ、資金を借り入れた場合)⑤特認事業(このほかにどうしても必要な事業と認められる場合)などの事業に助成されます。

いろいろな問題をかかえた中で、創意と工夫を十分に活かし新しい村づくりをみなさんが考えていくという、いわば、この事業はみなさん方が作っていく事業になるわけです。

アンケートを

ひろってみると：

この地域農政特別対策事業(推進活動)の手はじめとして、昨年十一月に新しい村づくり、人づくりのために、農業振興のアンケートをお願いしました。回収率もおよそ七十五%(野田地区七十八%、川辺地区八十一%、丸蔵地区六十九%、鯛生地区七十一%)となり、みなさんのご協力にお礼を申し上げます。

そこで各問に対して集計をおこないましたので、主な問の集計結果を。

まず各農家の経営労働力ですが、一戸に二人という

昭和二十四年一月二十六日、法隆寺金堂に火災が発生し、日本でもっとも貴重な文化財である堂内の壁画を一瞬にして焼失してしまいました。この不幸な事故がきっかけとなって、国内各層に文化財を守れという世論が急速に高まり、翌年議員立法で「文化財保護法」が制定されました。それを更に国民各層に定着させるために昭和二十九年度から法隆寺金堂罹災の一月二十

文化財を

守ろう

四、健康は人間生活の土台であります。全村民の方々が体力づくりに目ざめて生き生きとした生活をめざしてがんばりましょう。

充実をはかりつつ進めましょう。

そして、村の根本精神というべき「村民憲章づくり」を村民総ぐるみで長期的展望にたって作っていく場づくりに努めましょう。

五、日本・中津江村の伝統行事を見直し、よきものを現代生活の中で生かすようみんなで工夫しあつてやってみましょう。

(初もうで・鬼火たき・ひなまつり・花まつり・たんごの節句・七夕・お盆・餅つき・宮園神社の餅つき祭、的ほがし祭・おくんち等)

六日を文化財防火デーとして、文化財を火災や震災から守り、大切な文化財を子孫に守り伝える意識高揚の日としています。

みなさん、かけがえのない文化財を火災などから守り、子孫に残す責務について改めて考えてみましょう。

1月26日

歴史の“足跡”を
火魔から守ろう



文化財防火デー

回答が百六十八人中百十人(六十五%)ともしっかりと多く、三人が二十三人(十四%)、一人が二十一人(十三%)、四人以上というところは全体の八%にしかすぎませんでした。後継者は百七十八人中九十五人(五十三%)がいると答えていますので、二戸に一戸は後継者がいるということになります。ただし、この数字は農業の後継者ではなく、単に後継者がいるという答えにも含まれています。農業経営の質間については表Iのとおりですが、農業以外の収入で主に家計費をまかなっていると答えた方が六十六・五%と過半数を超え、逆に農業収入だけで家計費をまかなっている方は六・七%にしか過ぎませんでした。これは現在の中津江村の農業というものを現わしているようです。

また、今年も減反が引き続きおこなわれることはみなさんご存知と思いますが、今後、取り組んでいきたい作物として水稲のほかに、ほしいだけ(九十三人)、茶(四十五人)、肉用牛(

四十人)、コンニャク(三十四人)等が多く、水稲プラスの複合経営が主となっているようです。将来の方向としての質間は表IIのとおりですが、現状維持が約七十%を占め、拡大したいと答えた方が二十一%で、その中の方法として農地を買い取りたい、自己の所有地を開拓して拡大していきたいと主に答えています。

住みよい村づくりをするためには、どんなことが必要ですかという質問に対し、集落内の話し合いの機会を多くするという回答が特に

多かったです。これは、昔の農村では集落を単位として農業生産や日常生活が営まれてきましたが、今では集落の区別さえ定かでないような集落としての機能が果せなくなったことを示しています。

現在、直面している問題は農道整備、水路改良が遅れていると回答したのは百七十九人で、このほか農産物の価格保障、後継者問題、猪被害、指導不足、山林が多すぎる等が主な問題としてあがっているようです。

表 I

農業経営方法

- ①農業を専業にしている。
- ②どちらかといえば農業を専業に。
- ③どちらかといえば農業が主で、農業以外の仕事も兼業である。
- ④農業以外の仕事も主で、農業が兼業になっている。

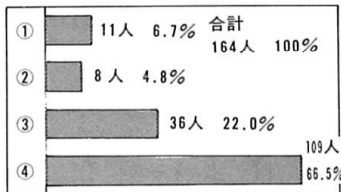
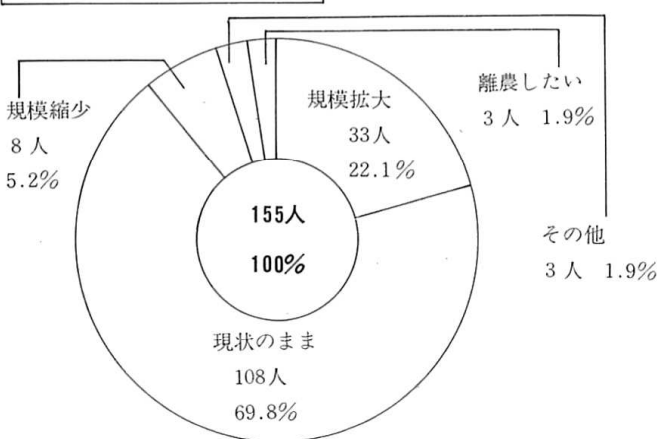


表 II

農業経営の将来の方向



高田好胤先生の「日本の心」

を聞いて

〔津江中の生徒の作文より〕

高田好胤先生への

手紙

三年 片桐留美



先生、過日は大変すばらしいお話を聞かsekうございましてありがとうございます。

こんな山の中の小さな村に立派な先生がおいでくださることだけでも光栄なのに、そのうえ高田先生がテレビの画面を通してでなく、ご本人が直接私たちの目の前でお話しくださったことは私たち津江中学生にとってこの上ない幸せなことだと思います。

先生のお話の中には、本当に考えさせられること、また、心を打たれることがたくさんありました。その

中でも特に病気の母親がわが子に書き残した手紙の内容が印象深く思われます。自分は死を目の前にしてまで子どものことを考え三日間かかって書き続けた手紙に私は本当に親というものはありがたいものだと思います。

子クジラと母クジラのお話、また、高田先生の小さい時のお話などを聞いているうちに私はこの会場の中を見渡しました。なぜならばそれは私の母を捜すためです。どこかで聞いているはず。きっと私の母は顔を涙でくしゃくしゃにして高田先生のお話を聞いていることでしょう。

私の母は両親を小さいころに亡くし、大変苦労して生きてきた尊敬すべき母です。高田先生の話されたことと、よく母が話してくれていました母の生立ちとてもよく以ています。両親を亡くしてからは祖母が母

たちの世話をしてくれたそうです。母の兄は通学しながら田植えや畑の野菜を育てたそうです。母も小さいながらも妹や弟たちの世話をしながら山にたきぎを取りに行ったり、麦踏みなどをしたそうです。そして、兄や祖母のおかげで高校に行き、いろいろなことを身につけ先生になったのです。母は両親が亡くなりそれからの自分がたどった道を弁論大会で発表し、最優秀賞をもらいました。その母の言葉を聞いて何人もの人が涙を流してくれたそうです。私はこの話を聞いたときとてもすばらしい母を持ったことを本当にうれしく思いました。

先生のお話の中に「己に克つ」という言葉がありました。私はこの言葉を小さい時からよく母から聞かされてきました。ちよつと先生の言葉とは違いますが、母はよく

「だれからでも好かれる人、そして、人を区別せず自分に勝てるような人間になるように。」

と言います。私は高田先生の「己に克つ」、そして、母の「自分に勝て」という言葉は一生忘れないつもりです。

それから、「あいさつは心を開く窓である。」これも先生のお話の中にありました。私は本当だと思いましたが、あいさつのない日の一日はなんだかとても憂うつです。一言のあいさつで心が大変軽くなるような気がします。また、手を合わせ

高田好胤先生

ありがとう

三年 森本ルミ子



このあいだの講演、大変ありがとうございました。

こんな小さな村に忙しいのに来てくださって本当に感謝しています。本当のことをいうと、私には「日本の心」とかわからないだろうと思っていました。それ

て幸せ、不幸せということも教えていただきました。さらには、ただ「いただきます」だけではなく「喜び」と感謝と敬いの心を持っていただきます。」という言葉も自然に言えるよう努力したいと思います。それからもう一言、私は本当にすばらしい両親にめぐまれたことを心からありがたく思っています。

では高田先生、お体をお大事にお暮しくください。

から、私は長い間正座してしびれをきらして、話を聞くのが苦手なのです。しかし、先生の顔が見え先生の話が始まると同時にそんなことは忘れてしまい、いつのまにか「日本の心」の中にはいりこんでしまいました。「喜びと感謝と敬いの心をもっていただきます。」この言葉を先生といっしょに手を合わせて言えたことだけでも、何か明日から良いことがあるのではないかという気持ちになっただけです。

でも先生がこんなに有名な偉い人になられたのも、

要注意!! 食べすぎと運動不足

暮れから正月にかけては、胃や腸など消化器を痛める悪条件がいっぱいです。

生活時間が不規則な上に、食っちゃ寝、食っちゃ寝になりがちで、1日中だらだらと食べたり飲んだり……当然運動不足になり、胃はもたれ、体調を崩してしまうのです。

お正月に限らず、わたしたちの家庭行事にはごちそうはつきものです。招く側も好意と敬意の印として、ごちそうを用意し、お客の方もまた、それを喜び、すすめられるままにお酒を飲み、食べる——という習慣があります。

しかし、このために体の調子を狂わせているようでは、何のためのお祝いであり、交際なのかわからなくなります。家庭の行事と食事やお酒の関係を、もう一度考えてみたいものですね。

人並以上の苦勞があったからこそだと思いました。私は今、青雲寮にいて校長先生をはじめ他の先生方から五十八名の仲間といっしょに毎日厳しい生活を送っています。そこで校長先生がいつも言われることは、「今、君たちは大変苦しいがこれが社会に出ていろいろ苦難にも負けずに強い人間に成長していく上で大きなささえになる。」ということとです。そして現在、大変活躍している偉い人たちは必ず大人になるまでにそれ相應の苦勞をしているといふことです。このことが好胤先生の話聞いてから、いっそうよくわかるようになります。また自分自身の生活のささえにもなるように思

われてきました。実際、朝五時五十分ごろの起床、とても寒い中での詩吟、それから四十五分間の英語講座、マラソン、その他いろいろなことがつらく苦しいものです。「ああ早く、早く家に帰りたい、どうして寮生だけがこんなに苦しまなければならぬのか」と何度も何度も思います。そして学校で友だちが「きのうのテレビは楽しかった。」と言っているのを聞くと、通学生がうらやましくてならぬいとさもありませぬ。でも今、我慢すればいつかその答が返ってくるようにとがんばっています。先生の苦勞に比べれば何でもない苦勞かもしれないませんが、私たちにとって寮生活はとても厳し

い家です。でも、誕生会等があつて楽しい時もあります。先生は今、昔のことを思い出してやっぱり薬師寺に入り苦勞してよかつたと思ひますか、それとも、もうもどりたいと思われませんか。私のかつたと思われませんか。私の考えでは、この道に進んでよかつたのだと思われていると思ひます。それは今、先生が大変活躍されているからです。これから、お体を大切にしていっていつまでも薬師寺にいて活躍してください。それからこの中津江村、津江中、そして青雲寮の私たちのことを忘れないでください。それと、おみやげあげがとうございました。

おもちがノドにつかえたら

お正月は、おもちにご注意——。

おもちがノドにつかえて苦しみ、なか

で引っ張り出します。あるいは、こたつの上などに腹ばいさせて、上半身が垂れ下がるようにして、背中の真ん中をポンと勢よくたたいて、吐き出させます。

には窒息死する人もいます。多くは七十歳以上のお年寄りですが、おもちを食べるときは十分気をつけるように、注意しましょう。

▽ゆつくり食べる△

おもちは消化がよいのは確かですが、粘り気が強いので、よくかまないで飲み込むのは危険です。お年寄りには、うんとやわらかくするか、小さくして、ゆつくりかんで、食べてもらいましょう。

▽もし、つかえたら△

口を大きくあけさせて、中におもちが見えるときは、指を呼ぶことです。おもちといっしょに、入れ歯を飲み込み、入れ歯がノドに引っかかったときも、すぐに医師に連絡しましょう。

▽とり出せたら△

楽な姿勢で休ませ、温かいお茶を飲ませたり背中をさすったりして、気分を落ち着かせてあげましょう。

▽とれない時は△

引き出すこともできず、胃袋にも落ちず、だんだん顔色が悪くなるような場合には、一刻も猶予はなりません。上半身を高めにして寝かせ、近くの医師

大分県農業実践大学校

学生募集

大分県農業実践大学校が学生を募集しています。募集人員は農蚕科、園芸科、畜産科の80名です。

※応募資格…①昭和55年4月1日現在で満22歳未満のもの。②高等学校を卒業したもの(昭和55年3月高校卒業予定者も含む)

※試験期日…昭和55年2月14日(木)

※試験科目…国語、社会、選択科目として理科(生物I)、理科(化学I)、農業(作物保護)の中から1科目。午後面接をおこなう。

※受付期間…昭和55年1月10日から1月31日まで。

なお、くわしいことは大分県農業実践大学校教務課(大分県大野郡三重町大字赤嶺2328の1 電話09742-2-0670)か役場産業課へお問い合わせください。

ご寄付お礼

さきにご家族をなくした次の方々より、香典返しとして金一封をいただきました。厚くお礼申し上げます。

中津江村社会福祉協議会へ
川内高夫様 川村恭一様
長谷部シヨノ様
丸蔵生活改善センターへ
川内高夫様

県立碩信高等学校

生徒募集

県下で唯一の通信制高等学校である碩信高校では、生涯教育を目指す人、高校卒の資格を得ようとする人を対象に生徒を募集しています。

※応募資格…中学卒業者、またはこれと同等以上の学力を有する者。(年齢、性別、職業等の制限はない)

※学習方法…レポート提出と月2回の面接指導(日曜日)によって学習を進めます。学習期間は4年間です。

※学費…全日制高校の1/3程度です。(教科書、学習書は無償配布)

※出願期日…2月21日から4月7日まで。

※選考…提出書類でおこない、学力検査はありません。

※願書請求先…
…大分市上野丘2丁目10の2
大分県立碩信高等学校(電話0975-43-9339)

願書請求の際は必ず郵便切手140円を同封のこと。

スーパー林道使用には申請を!

森林開発公団の施行で開設されたスーパー林道を木材の搬出等で使用する場合は、森林開発公団にスーパー林道使用申請をしなければなりません。

申請用紙は役場産業課にありますので、使用する方は申請書を提出してください。

県立日田専修職業訓練校

訓練生募集

県立日田専修職業訓練校が訓練生の募集をしています。募集人員は自動車整備科30名、建築科30名です。

※応募資格…義務教育終了者で、身心ともに健全であるもの。

※入校試験…昭和55年2月26日

※試験科目…中学校卒業程度の国語、数学と面接試験

※受付期間…昭和55年1月5日から2月16日まで。

なお、入校希望者は訓練校(電話09732-2-6405)か公共職業安定所(電話09732-3-4123)へお問い合わせください。

世界農林業センサス実施

農林水産省では、本年2月1日現在で世界農林業センサスを実施します。

調査員が皆さまのお宅に2月1日前後に訪問し、農業または林業に関する調査事項について質問しますのでご協力くださいますようお願いいたします。

なお、調査票にご記入いただきました事項は、統計を作るためだけに使われるもので、その他の目的、たとえば個人の課税の資料等に使うことなど法律で固く禁じられておりますので、ありのままをお答えくださいますようお願いいたします。

雑記

※年賀状を出し忘れたり、こちらからは出さなかったのに、相手からは出たらよかった合など、どうしたらよいかなんぞおられる人も多いでしょう。くどくどと言いつつ、そのも正月早々から嫌だといつて、そのまま放ったらかしにしている人も多いのではないのでしょうか。

そんな時、さりと「寒中見舞」のハガキを出してはいかがでしょうか。「寒中」といふのは「寒のうち」小寒の入り(一月六日)より寒明けの立春(二月四日)までをいいますので、時間的にも余裕があります。これなら服喪中の人にも、慰めの気持ちや激励の真心を送ることができそうです。

※正月の行事として「若木切り」「鬼火たき」などがあります。今はあまり行なわれないようですが、私たちがとっては昔懐かしい郷土の行事です。今年やる地区もありませんが、今の子どもたちにはぜひ伝えたい行事の一つです。